

非小細胞肺癌 扁平上皮癌（進行・再発） 1st Line
Pembrolizumab+CBDCA+nab-PTX療法

コース目

患者ID: @PATIENTID 年齢: TIENTAGE 歳
患者氏名: @PATIENTNAME 性別: ATIENTSE

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)
HEIGHT01_Dc	HEIGHT01_Dc	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース 21日間
目標コース数: 4コース施行後、Pembrolizumab単独にて投与
使用基準: class A (day8,15はclass C)

開始時に血液製剤同意書を確認すること
開始前に甲状腺機能の確認のため、乳腺甲状腺外科へコンサルテーションすること。

- ※ 各適正使用ガイドに準じて投与すること
- ※ 投与中はVital signのチェック(Monitor装着を推奨)
- ※ Infusion reactionに要注意
重度のInfusion reaction (チアノーゼ様症状、血管浮腫、気管支痙攣、発熱、悪寒、呼吸困難、低血圧等)が出現することがある。2回目以降の投与時に初めて出現することもある。
- ※ 間質性肺疾患があらわれ、死亡に至った症例も報告されているので、初期症状(息切れ、呼吸困難、咳嗽、疲労等)の確認及び胸部X線検査の実施等、観察を十分に行うこと。また、異常が認められた場合には必要に応じて本剤の投与を中止し、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。
- ※ 肝機能障害に注意すること。
- ※ 甲状腺機能障害に注意すること。甲状腺機能障害があらわれることがあるので、本剤の投与開始前及び投与期間中は定期的に甲状腺機能検査(TSH、遊離T3、遊離T4等の測定)を実施すること。本剤投与中に甲状腺機能障害が認められた場合は、適切な処置を行うこと。
- ※ 肝炎ウイルス検査を行うこと。

《使用薬剤》

ペムブロリズマブ: (ペンブロリズマブ) 100mg/V
カルボプラチン: (カルボプラチン) 150mg/V、450mg/V
パクリタキセル: (パナクリタキセル) 100mg/V

投与量: CBDCA投与量はAUCより算出

Cre値 (mg/dl)	目標AUC(mg・min/ml)
	6.0

Calvertの計算式: 投与量(mg/body) = 目標AUC値 × (GFR+25)
GFRはCreを代用して計算。

薬剤名	標準投与量	計算値(mg)	投与量(mg)	投与日
ペンブロリズマブ	200mg/body	200.0		1
カルボプラチン	AUC 6mg・min/mL	#VALUE!		1
パナクリタキセル	100 mg/m ²	#VALUE!		1, 8, 15

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日: 4月8日 (月)

※エクステンションチューブを付け、フィルター有ルートで投与すること

※CVポートより投与の場合は

コアレスニードルセットにセーフTポートを接続して投与開始

day1 0時00分 ① 生理食塩液 50mL
血管確保用で速度適宜に点滴静注
0時15分 ② 生理食塩液 100mL + ペンブロリズマブ注 100mg 0.0mL
0.2µm or 0.22µmのフィルターを体側輸液セットを使用する
30分で点滴静注
0時45分 ③ 生理食塩液 50mL
フラッシュ

※④をフィルター無ルートでプライミングし、エクステンションチューブの側管から投与すること

1時00分 ④ 内服 アブレピタントカプセル 125mg 1×(1) カルボプラチン開始1時間前頃
1時00分 ④ 生理食塩液 50mL + アロキシ 1V + デキサート 6.6mg
15分で点滴静注
1時15分 ⑤ 生理食塩液 100mL + パナクリタキセル 100mg 0.0mL
30分で点滴静注 ※調整法に従い溶解。
※フィルター有ルートで投与
1時45分 ⑥ 生理食塩液 50mL
15分で点滴静注
2時00分 ⑦ 5%ブドウ糖液 250mL + カルボプラチン 450mg 0.0mL
60分で点滴静注
3時00分 ⑧ 生理食塩液 50mL
フラッシュ

day2~3: 4月9日 (火) ~ 4月10日 (水)

起床後 内服 アブレピタントカプセル 80mg 1×(2) 起床後

day8 4月15日 (月) day15 4月22日 (月)

1時00分 ① 生理食塩液 50mL + デキサート 6.6mg
15分で点滴静注
1時15分 ② 生理食塩液 100mL + パナクリタキセル 100mg 0.0mL
30分で点滴静注 ※調整法に従い溶解。
※フィルター有ルートで投与
1時45分 ③ 生理食塩液 50mL
15分で点滴静注

REFERENCE

L. Paz-Ares, A. Luft, D. Vicente, A. Tafreshi, et al: N Engl J Med 2018;379:2040-51
Pembrolizumab plus Chemotherapy for Squamous Non-Small-Cell Lung Cancer
2019年1月度化学療法プロトコル審査委員会承認: 2019年1月21日